

平成26年2月分の調査・駆除件数に関する考察

1. 2月の定期的・計画的な調査・駆除は、東区62件のほか、合わせて計72件実施したが、東区28件、その他の区10件、計38件でセアカゴケグモは発見されなかった。
2. 発見・通報に伴う駆除は、東区、博多区でセアカゴケグモが3件、16匹であった。
3. 2月の駆除匹数は、セアカゴケグモ248匹、ハイイロゴケグモ14匹であった。
セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモの駆除匹数は、11月1,834匹、12月478匹、1月238匹と減少していたが、2月は先月同様の駆除匹数であった。
セアカゴケグモは気温が低い季節もグレーチング等にて発見されており、越冬していることが確認された。今後気温の上昇とともに、セアカゴケグモの活動が活発化し、発見数が増加するものと推察される。
4. 卵のうはは、11月724個、12月197個、1月54個、2月24個を駆除した。
5. セアカゴケグモの駆除数の94%が公園・緑地であった。